

JPDA 11月定例理事会議事録

日 時：令和2年11月11日（水）午後1時30分～午後5時30分

場 所：オンライン（zoom）

出席者：理事24名中22名（伊藤 透、井上 聡、青木（入江）あずさ、石浦弘幸、伊藤雅文、畝野裕司、江藤正典、小川裕子、小川 亮、加藤（桑）和美、加藤芳夫、小原 司、高田知之、竹内清高、中越 出、永田麻美、中森恭平、信藤洋二、松尾政明、三原美奈子、森 孝幹、山崎 茂）

監事2名中2名（時田秀久、藤田 隆）

欠席届2名（牛島志津子、梅原 真）

議事録署名人： 伊藤 透、井上 聡
時田秀久、藤田 隆

議事の経過

定款第31条(議長)により伊藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者24名を確認、定款第32条(決議)による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が伊藤透理事長、井上聡副理事長、時田秀久監事、藤田隆監事の4氏であることを確認し、議事に入る。

※ゴシックは承認事項

第1号議案 新入会員入会審査の件

本日の理事会までに入会届を提出した下記の法人会員1社、個人会員3名、賛助（個人）1名の入会を承認した。

(1) 法人会員（1社）

<西日本>

1. 株式会社アイ工房【推薦者：時田 秀久】

(2) 個人会員（3人）(P.9～18)

<東日本>

1. 原 栄貴（はら えいき）【推薦者：時田 秀久】
2. 笠原 敏晴（かさはら としはる）【推薦者：時田 秀久】
3. 町田 かおる（まちだ かおる）【推薦者：石川 源】

(3) 賛助会員（個人）（1人）

<東日本>

1. 林田 直樹 (はやしだ なおき)

第2号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届を提出した下記の個人会員5名の退会を承認した。

(1) 個人会員 (5人)

<中日本>

1. 渡邊 賢次 (わたなべ けんじ) 【令和3年3月末退会希望】
(一身上の都合のため)

<西日本>

2. 池田 毅 (いけだ たけし) 【令和2年11月末退会希望】
(法人会員に移行のため)
3. 栗本 雅弘 (くりもと まさひろ) 【令和2年11月末退会希望】
(法人会員に移行のため)
4. 高木 理恵 (たかぎ りえ) 【令和2年11月末退会希望】
(法人会員に移行のため)
5. 河野 香織 (かわの かおり) 【令和2年11月末退会希望】
(法人会員に移行のため)

第3号議案 協会名義使用承認の件

本日の理事会までに下記7件の協会名義使用の依頼がありこれを承認した。

(1) 共催名義使用 (1件)

1. 「現代日本のパッケージ2020巡回展」@おおいたデザイン・エイド
【2021年1月18日(月)～24日(日) 大分県立美術館 (OPAM)】
主催：大分市

(2) 協賛名義使用 (1件)

1. 「page2021」
 - ・リアル展示会 【2021年2月3日～5日
サンシャインシティ・コンベンションセンター文化会館】
 - ・オンライン展示会 (配信：2月8日～28日)
 - ・オンラインカンファレンスセミナー (配信：2月8日～28日)主催：公益社団法人日本印刷技術協会 (JAGAT)

(3) 協力名義継続使用 (1件)

1. 光と音のシンフォニー「ライティングオブジェ2020」

【2020年12月17日～27日 東京国際フォーラム・東京ビルTOKIAガレリア】

- ・オープニング点灯式：12月17日(木) 17:00～
- ・ひかりの箱ワークショップ：12月19日(土)～20日(日)
- ・くまモンのスペシャルステージ：12月26日(土)
- ・ライティングオブジェコンサート：12月27日(日)

主催：ライティングオブジェ制作委員会

(4) 後援名義使用 (4件)

1. ジャパン・ハウス サンパウロ「パッケージデザイン大賞 (仮称)」

【2021年1月11日～3月14日 ジャパン・ハウス サンパウロ 2Fギャラリー】

- ・JPDA大賞の入賞作品40点+入選作品78点 (ジャパン・ハウスによる選出)
計118点を展示
- ・期間中セミナー等を開催の予定 (現在検討中)

主催：ジャパン・ハウス サンパウロ

2. 「コンテンツ東京2021」

【2021年4月14日(水)～16日(金) 東京ビッグサイト】

主催：リード エグジビション ジャパン株式会社

3. 「第60回2021年ジャパンパッケージングコンペティション」

合わせて伊藤理事長の審査委員就任と協会賞賞状交付についての依頼有り

- ・応募【令和2年11月26日(木)～令和3年1月21日(木)】
- ・審査会【令和3年1月29日(金) 10:00～17:00 日本印刷会館(2階)展示室】
- ・展示会【(東京) 令和3年4月12日(月)～14日(水) 日本印刷会館展示場】
【(大阪) 令和3年4月19日(月)～23日(金) 平和紙業株式会社】

主催：一般社団法人 日本印刷産業連合会

4. 「おいしい東北パッケージングデザイン展2020」

合わせて「令和2年度 TOHOKU デザイン創造・活用支援事業」審査委員会の委員及び委員長就任(加藤専務理事)についての依頼有り

- ・審査会、オンラインフォーラム、展覧会の日程は現時点では未定だが、令和3年2月以降になる予定。

主催：東北経済産業局(経済産業省)

第4号議案 D-8 ジャパンデザイナーズサイト継続のための各協会からの補助金拠出の件

渡邊事務局長より説明があった、D-8の幹事協会 日本空間デザイン協会からの、「D-8 HPにあるジャパンデザイナーズサイト(現在(株)Too.に運営を委託)を継続させるためにサーバーのメンテナンスが必須だが、その費用30～40万円が当初予算には組み入れられていなかったため、D-8所属の8団体から各5万円の拠出をお願いしたい」との依頼に

ついて、これを承認した。

第5号議案 正副理事長報告

伊藤理事長、井上副理事長、加藤専務理事より、現状の活動状況について以下の報告があった。

- 伊藤理事長報告
- ・ 9/11 ジャパン・ハウス サンパウロ（以下JHSP）でのJPDA大賞展打合せ(zoom)
 - ・ 9/14 会員アンケート打合せ(zoom)
 - ・ 9/16 経済産業省俣野氏面談（事務局）
 - ・ 9/28 会員アンケート打合せ(zoom)
 - ・ 9/29 60周年企画展打合せ(zoom)
 - ・ 10/2 JHSPでのJPDA大賞展打合せ(zoom)
 - ・ 10/13 60周年企画展打合せ(zoom)
 - ・ 10/15 APD事前打合せ(zoom)
 - ・ 10/16 JHSPでのJPDA大賞展打合せ(zoom)
 - ・ 10/19 会員アンケート打合せ
 - ・ 10/21 研究コンペユニットキックオフMTG(zoom)
 - ・ 10/27 東日本委員会
 - ・ 10/28 **内閣府報告（役員変更届）確認打合せ**（事務局）
 - ・ 10/29 60周年企画展打合せ(zoom)
 - ・ 10/30 パッケージデザインの学校Webプレセミナー(zoom)
 - ・ 11/5 APD国内・国際事前打合せ(zoom)
 - ・ 11/6 国内交流オンライン交流会（GK京都訪問）
「みんなでつながろう！デザインの輪！」(zoom)
 - ・ 11/11 定例理事会(zoom)
- 井上副理事長報告
- ・ 9/14 会員アンケート打合せ(zoom)
 - ・ 9/28 会員アンケート打合せ(zoom)
 - ・ 10/15 APD事前打合せ(zoom)
 - ・ 10/19 会員アンケート打合せ(zoom)
 - ・ 10/20 西日本委員会（サンデザイン）
 - ・ 10/21 研究コンペユニットキックオフMTG(zoom)
 - ・ 10/28 **内閣府報告（役員変更届）確認打合せ**（事務局）
国内交流オンライン交流会リハーサル(zoom)
 - ・ 10/29 西日本委員会（サンデザイン）

- ・ 10/30 パッケージデザインの学校Webプレセミナー (zoom)
- ・ 11/5 APD国内・国際事前打合せ (zoom)
- ・ 11/6 国内交流オンライン交流会 (GK京都訪問)
「みんなでつながろう！デザインの輪！」 (zoom)
- ・ 11/11 定例理事会 (zoom)

加藤専務理事報告

- ・ 9/11 ジャパン・ハウス サンパウロ (以下JHSP) でのJPDA大賞展
打合せ (zoom)
- ・ 9/14 広報委員会 (zoom)
会員アンケート打合せ (zoom)
- ・ 9/18 JHSPでのJPDA大賞展打合せ (zoom)
- ・ 9/23 教育委員会 名古屋・新潟セミナー打合せ (zoom)
- ・ 9/28 会員アンケート打合せ (zoom)
- ・ 9/29 60周年企画展打合せ (zoom)
- ・ 10/2 JHSPでのJPDA大賞展打合せ (zoom)
- ・ 10/5 印刷博物館20周年リニューアル内覧会
- ・ 10/13 60周年企画展打合せ (zoom)
- ・ 10/15 APD事前打合せ (zoom)
- ・ 10/16 パッケージデザインの学校プレセミナーリハーサル (zoom)
- ・ 10/19 会員アンケート打合せ (zoom)
- ・ 10/21 研究コンペユニットキックオフMTG (zoom)
- ・ 10/28 内閣府報告 (役員変更届) 確認打合せ (事務局)
- ・ 10/29 現代日本のパッケージ展トークショー打合せ (印刷博物館)
60周年企画展打合せ (zoom)
- ・ 10/30 JHSPでのJPDA大賞展打合せ (zoom)
パッケージデザインの学校Webプレセミナー (zoom)
- ・ 11/2 おいしい東北パッケージデザイン展 審査委員会 (zoom)
- ・ 11/5 APD国内・国際事前打合せ (zoom)
- ・ 11/9 教育委員会 名古屋・新潟セミナー打合せ (zoom)
- ・ 11/11 定例理事会 (zoom)

第6号議案 役員変更届についての内閣府からの指導 (事務局)

渡邊事務局長より、新役員が承認される通常総会の終了後に内閣府に届けなければならない役員変更届に関する度重なる不始末について、7月27日の1回目提出から11月6日の

再々提出までの経緯、間違いが多かったため受理されなかった届出書を何度も提出してしまつた原因、及び今後の改善策についての詳細な説明があつた。

全役員に対しては、別途時間をとつて、役員（理事・監事）の役割、定款の内容等この件に関連する事項を共有する機会を設けることとした。

第7号議案 上期実績から推測する2020年度収支見込みについて（事務局）

渡邊事務局長より資料に基づき、コロナ禍でほとんどの委員会が当初の事業計画を予定通り遂行できない今年度（2020年度）の協会全体の収支見込みについて以下の説明があつた。

- 1) 経常収益は、コロナ禍によりすべての費目が予算を下回り対予算▲3,879万円の見込み。
 - ・退会者の増と入会者の減から入会金+受取会費が対予算▲238万円
 - ・計画していた全てのセミナー、講演会、展覧会が延期、あるいはオンラインによる開催となつたことから、事業収益が対予算▲1,348万円
 - ・アスパック事業が全面中止となり、収益事業の受託収益は0（対予算▲258万円）
 - ・60周年で全額取り崩す予定だった積立金は事業の延期により対予算▲1,500万円
 - ・主に交流会等の参加費となる雑収入が対予算▲535万円
- 2) 経常費用は、やはりコロナ禍の影響で収益以上に予算を下回り、対予算▲4,278万円となる見込み
 - ・公益事業が対予算▲3,214万円
 - ・収益事業（アスパック事業）が対予算▲246万円
 - ・管理費が対予算▲818万円

⇒管理費は、オンラインでの理事会開催による会議費の減、会員名簿のデジタル化による印刷製本費のマイナス等が影響している
- 3) したがって、経常増減額は+46,500円の予算に対し、+3,985,076円となる見込みで、これからの進捗によっては、300万円の取り崩しを見込んでいる60周年積立金をそのまま2021年度に持ち越すことも検討したい。

第8号議案 JPDA会員に対するアンケートについて（小川理事）

小川(亮)理事より、資料に基づき、退会者増加の現状を鑑み、検討を進めている会員アンケート（目的はJPDAへの期待や現状を把握すること）を実施する事前準備として行つた、退会者（法人会員）に退会理由を聞くヒアリング（事務局から退会者の電話インタビュー）の結果についての以下の報告があつた。

- ・法人会員の場合、協会との窓口となる担当者を啓蒙して、協会の活動に引き入れること。そのためには未参加者が交流しやすい場を提供することが必要と思われる。
- ・担当者が企業（法人会員）内で説明できるような、メリットのある形を提供することが

重要なポイントとなる。

- ・責任者（社長・役員等のトップマネジメント）との継続的なつながりを維持する仕組みを作っていく必要がある。
- ・今回のヒアリングの結果を参考に、今後会員へのアンケート内容を検討していきたい。

第9号議案 委員会報告（●は資料あり）

<報告事項>

●研究コンペユニットキックオフ

井上副理事長より、資料に基づき、10/22のコンペティション委員会、調査研究委員会、デザイン保護委員会、アーカイブ委員会の担当理事が出席した「研究コンペユニット」キックオフMTG（zoomでのオンライン）についての報告があった

（新しいユニットでは、6月に「学び交流ユニット」が、7月に「広める価値ユニット」がキックオフMTGを持った。）

<コンペティション委員会の課題>

当面の課題は、審査まで終了した大賞2021の贈賞式をどうしていくのかにあるが、中長期的には、これまでの応募⇒審査⇒集計⇒贈賞（⇒出版）の流れを委員・六耀社・サンニチで分担してきた運営体制を、広報を含めてどのような一貫した体制にしていくかのかが最大の課題。

デジタルの出版が増えていく中、『年鑑』の出版がなくなると、これまでのような六耀社の協力は得られなくなるので、今後の運営体制の再構築が必要となる。

<調査研究委員会の課題>

これまで研究テーマを「社会課題」におき、今見える社会トレンドを外部からのサジェスションもいただいて年に一度発表するとともに、包装専士会とのコラボによる「未来予測」を発信してきたが、今後はどのような研究目標を設定するかが課題。

<デザイン保護委員会の課題>

HPコンテンツの評価は高いが、委員会メンバーの固定化・高齢化・高い専門性から新しい発信が難しく認知度が上がらないことが課題である。新しい委員を集めるために委員会の公開も考える必要があるかもしれない。

これまで主体となって活動されていた丸山氏の引退もあるが、「著作者人格権」などについて幅広く議論する機会をもち、今何がポイントなるかの分かり易い説明も必要と考える。

<アーカイブ委員会>

コンペがデジタル審査になっても、アーカイブ作品の現物収集は今後も積極的に継続したいが、委員のメンバーが少なく固定化しているので事業継続に不安がある。

D-8のデザインミュージアムが進行中だが、アーカイブ委員会としてはパッケージデザイン資料館の設立を活動目標としていくかについて今後協会内で議論していきたい。

- ・加藤専務理事から、「委員会の横のつながりがよくわかるので、ユニットでの議論は有効な取り組みだと思うが、組織も含めてどのように具体化していくが課題になるだろう」とのコメントがあった。
- ・最後に伊藤理事長から、「全てが変わるというよりも、いろいろな委員会が有機的に連携して事業を行うことが望ましい。その一つとしてJPDA最大のイベントであるパッケージデザイン大賞を盛り上げることも重要だと思う。」とのコメントがあった。

●コンペティション委員会

小原理事から、2021年2月1日に東京ガーデンパレスで開催する予定であった贈賞式の運営を、現在のコロナ禍の中、以下の2案で検討中であり、11月には方向性を決めたいとの報告があった。

(いずれの案も贈賞式後のレセプションは中止する。)

<ケース1：贈賞式そのものを中止>

受賞者に楯・賞状を送り、審査員の講評、大賞受賞者のコメントをムービーやWeb(HP)で発信する。

<ケース2：贈賞式×オンライン※>

2-1 出席者は大賞・金賞・審査員特別賞受賞者に絞って(約30名程度)実施する。

2-2 入賞者全員(約60名)の出席を得て実施する。

※いずれの場合も、入賞者のムービー、贈賞式のライブ中継、入賞者のリモート参加等を検討する。

<出席者(敬称略)からの意見>⇒コンペ委員会で再度検討したいとのこと。

(永田)費用のかからない会場(東洋インキ)で贈賞式を行い、その模様をオンラインで発信してはどうか。これまで会員は贈賞式を見ることができなかったのでは効果があると思う。

(山崎)コロナの現状を見ると11月中の決定は難しいのでは。オンラインの場合は審査員からのコメントをもらう等の盛り上げ策が必要だと思う。

(石浦)やはりホテルのようなステージや照明がある会場の方が贈賞式としての「華」があつてよいと思う。

●APD(国際交流・国内交流・東日本)

森理事より、資料に基づき、2021年の秋に延期となった60周年記念事業「アジアパッケージデザイン会議(APD)」のあり方について検討した内容の報告があった。

- ・今年予定していたAPDを2021年に延期し、11月21日に同じ会場で開催することについて

は各国の了解を得ていたが、現在のコロナの状況を見ると1年後にどうなっているか予想がつかないことから、オンラインでの開催をメインに検討していきたい。

- ・これまでのコンテンツは各国からのパッケージデザイントレンドレポート、ホスト企画の基調講演、各国持ち寄りの作品展示会とAPDアワードの選定、参加者との交流・おもてなしであったが、オンラインになった場合は、事前にAPDサイトを通じてこれらの情報共有ができる、直接現地から参加できるのでインドネシア等参加団体が増える（APDの価値をより広いアジアに拡大できる）可能性があるなど、リアルでは望めない新しい価値を生み出すことができると考えている。
- ・初めての国際的なオンラインイベントでもあり、国内外からの参加費をどう設定するか、また、テクニカルな運営委託先の探索や不都合のない同時通訳の仕組み作り等、予算を含めじっくりと検討していきたい。
- ・1月に代表者会議を開き各国との共有化を図った上で理事会報告。3月APDサイトの構築、9月JPDA内のリハーサルを行い、11月に開催するスケジュールで進めたい。

●パッケージデザインの学校

小川(亮)理事より、資料に基づき、10月30日(金)に開催したオンラインセミナーについて以下の報告があった。(詳細は議案書資料を参照)

- ・当初2020年6月に開校を予定していたパッケージデザインの学校が延期になったため、「いい発注と悪い発注」と題したプレセミナーをオンラインで開催した。
学校開校前の会員への事前アンケートからオリエンテーションのやり方について悩んでいることが窺えたのでこのテーマを選んだ。
- ・多くの方々に参加いただき(申込み:467名、当日の参加者:307名(半分以上が非会員))、内容は好評だったが、セミナー運営には大変苦労した。今後、このような大人数のオンラインセミナーを開催するときは、外部のプロ(運営会社)の力を借りることが不可欠だと思う。
- ・2021年に学校をどのような形で運営していくかについては、11月中にチーム内で検討し、あらためて報告したい。

○伊藤理事長から、「今後のことを考えると、協会内にオンラインセミナーの技術的ノウハウの蓄積が必要となる。事務局で外部運営会社の資料を集めて協会内で共有できるようにしてほしい。」という発言があり、具体的なやり方を事務局で検討することとなった。

●国内交流

桑理事より、11月6日(金)に開催したオンラインセミナー「みんなでつなごうデザインの輪」(会社訪問)についての結果報告があった。(議案書資料は検討段階のもの)

- ・今回は1回目のトライアルで、井上副理事長にGK京都を案内していただいた。参加者

は20名で（国内交流委員12名がバックアップ）、参加者11名からはすでにアンケートに答えていただいております、概ね好意的な評価をいただいております。

・次回は1月29日（金）にブラビスを訪問し、フミ・ササダ氏に案内をお願いする予定だが、今後はデザイン会社だけではなく紙業等素材系の法人を訪問することも考えていきたい。

○伊藤理事長から、「Webメールでのアンケートは大変良い方法だと思う。」との発言があり、桑理事からやり方を協会内で共有できるようにしていきたいとのコメントがあった。

●国際交流（学生賞の創立）

三原理事より、資料に基づき、委員会横断型のプロジェクトチーム（JPDA学生プロジェクト）で学生賞を検討していきたいという報告があった。

・2021年度は種まき・準備期間とし2022年度をスタートとしたい。

・名称は検討中。対象についてはパッケージデザインを詳しく知らない学生にするか（浅く・広く）、パッケージデザインが好きでモノづくりに興味がある学生にするか（深掘り）、また、アスパックのように両方に手を広げるかを議論しているところである。

<出席者（敬称略）からの意見、質問>

（加藤）学生からは高い出品料は取れないので予算を立てるのは難しいと思う。

⇒今回は外部スポンサーまでは考えてない。（森）

（石浦）浅く・広くの場合、一般の高校生までを考えるのか。

⇒基本的には大学、専門学校、高専までになると思う。（森）

（山崎）パッケージデザインの領域は広がってきているので、広く応募させた方がよいと思うが、その場合は審査基準が重要となる。

（江藤）昨今、海外のコンペではパッケージ部門の作品はつまらないものも多く。他部門に面白いものが多い傾向が見られる。対象は幅広い方が良いのでは。

（渡邊）現在のコンペ委員会とは別のものと考えて良いか。また、毎年の開催か。

⇒そのとおりである。（三原）

●展覧会（創作展）

小川（裕）理事より、資料に基づき、2021年に延期された第3回創作展「みらいパッケージ展」参加申込者とのオンラインミーティング（11月20日（金）開催予定）についての報告があった。（詳細は議案書参照）

●60周年企画展

加藤専務理事より、2021年に延期された60周年企画展「縄文と弥生のデザイン遺伝子」の開催日程を8月7日（土）～10月3日（日）で進めたいとの報告があった。

○伊藤理事長より、「何が縄文で何が弥生なのか、具体的な作品をそろそろ理事会で案内してほしい」とのコメントがあった。

●西日本

松尾理事より、資料に基づき、初めてのオンライン展示会（11月27日（金） Remoを使用）についての報告があった。（具体的な開催方法、出展予定企業については議案書参照）

- ・コロナ禍で営業等外部との対面の接点が少なくなっている法人会員にオンラインでその場を提供するとともに、デザイナーサイドには情報収集として活用できる場を設けることがこの展示会の目的である。
- ・今回、参加者は50名限定、参加費は無料とする。今回好評価であれば将来的に有料とすることも検討する。
- ・出展する法人は10社（主に素材メーカー）、それぞれが6名入れるブースでプレゼンを行うシステムで同業者の訪問も可。また、参加者（訪問者）が15分毎の鐘を合図にブースを入れ替わることができる。

●中日本（愛知・岐阜）

伊藤（雅）理事より、資料に基づき、名古屋で開催する日本パッケージデザイン大賞2021巡回展の進捗について、以下の報告があった。

- ・日程：2021年3月10日（水）～15日（月）の6日間
- ・場所：名古屋国際デザインセンター※ デザインギャラリー
※国際デザインセンターには共催を依頼中⇒11/17共催承諾の連絡あり
- ・展示内容：日本パッケージデザイン大賞2021入賞作品
（名古屋のデザイナー作品コーナーも設ける）
- ・セミナー：3月13日（土）に伊藤理事長に登壇をお願いするリアル開催を予定。

●東日本

竹内理事より、口頭で2021年の新年デザイン交流会についての以下の案内があった。

- ・2021年1月15日（金）※に以下の2部構成（全てオンライン）で検討を進めてきた。
（第一部）18:00～19:15：JPDAパッケージデザイン功績賞2020を受賞された加藤専務理事の贈賞式と記念講演
（第二部）19:15～20:00：伊藤理事長の新年のご挨拶、乾杯の後、全国各地からの新年のメッセージ、新入会員紹介、委員会紹介、閉会の辞

※しかし、加藤専務理事が同日に別の予定が入っていたため、急遽1月22日（金）に変更することになった。日程変更を至急東日本委員会で共有するとともに、12月半ばには会員に詳細を案内できるように進めていく。

●教育

永田理事より、12月4日（金）に開催するJPDA2020オンラインセミナー「デザインする場所に意味はあるのか？」についての進捗報告があった。

- ・JPDAのHPには11/2に、また、JAGDAのHPには11/6に案内を掲載した。100名参加の

目標だが、現在50名程度の申込みなので、理事の方々には是非出席いただくようお願いするとともに、合わせていろいろな方へのお声がけをお願いしたい。

- ・今回のセミナーについては、中日本（愛知・岐阜）の伊藤（雅）理事、（北陸）の畝野理事のご協力をいただいたことを加えたいと思う。

●デザイン保護

高田理事より、資料に基づき、委員会レポートページの内容（11月公開予定）と委員会開催状況についての報告があった。

- ・今期は11月19日（木）に委員会内のオンライン勉強会を、また、2021年3月3日（水）にオンライン知財セミナーを開催する予定。

●アーカイブ

入江理事より、資料に基づき、以下の活動報告があった。

- ・声のアーカイブ、第4回の佐藤昭夫氏については10/26（月）会員専用ページに公開した。また、第5回の河北秀也氏については、今日の午前中にインタビューが終わり、2021年2月に公開の予定。

- ・第3回セミナーは「もしも日本にデザインミュージアムができるとしたら……」というテーマで、理事のラウンドトーク形式で2021年3月の開催※で進めたい。

※伊藤理事長から「D-8が進めているデザインミュージアムなのかパッケージデザイン資料館のことなのかを明確にしてほしい。後でD-8がやろうとしていることと齟齬が出ないようにする必要がある。もっと議論を深めてからにしてはどうか。」というコメントがあり、開催時期も含めて再検討することになった。

- ・過去の大賞、金賞受賞作品の収集は継続しているが、未収集品のリストも議案書に載せたので、お持ちの方、また、お持ちの方をご存じの方はご連絡いただきたい。

●インターネット

中越理事より、資料に基づき、HPの主な更新状況、7月からお願いしているHPリニューアルに伴うイベント告知案内サイズに関する留意点についての報告があった。（詳細は議案書参照）

●調査研究

中越理事より、資料に基づき、エリア委員を交えてのWeb委員会についての報告があった。（詳細は議案書参照）

○伊藤理事長から、Web委員会の結果は公表されるのかとの質問があったが、中越理事からこれはあくまでも委員会報告なので、公表はしないとの回答があった。

●広報

石浦理事より、次回2021年春のJPDA MAGAZINEについての報告があった。

- ・前回の理事会で、次回2021年春のJPDA MAGAZINEについては、教育関係に携わって

いる会員に寄稿していただき、シンポジウム形式の内容にしたいという報告をしたが、役員が寄稿する場合、前号（JPDA新役員の寄稿集）との内容の重複を避けるため、実際教壇に立っている方に限定していきたい。議案書にある役員以外のリストに載っていない方をご存じであれば、広報担当理事あるいは事務局まで一報いただきたい。

- ・スケジュールとしては1月までに原稿を集めて、3月発刊の予定で進めていく。

●出版

山崎理事より、現在印刷博物館で開催中の現代日本のパッケージ展「ロングセラーのパッケージデザイン」と11月13日(金)のトークショーについての報告があった。

- ・現代日本のパッケージ展は予約制でもあり、例年と比べ若干寂しい感があるが、「ロングセラーのパッケージデザイン」は先日週刊ポストの取材があり、グラビアで掲載されるということを知っている。(発刊済)
- ・11/13のトークショーは加藤専務理事、小川(亮)理事、出版委員の松田澄子氏、山崎理事の4名が亚克力パネルを挟んで登壇するという、印刷博物館としても初めての試みでもあり、すでに150名を超える申込みがある。これからでも是非申込みをお願いしたい。

第10号議案 事務局報告

渡邊事務局長より以下の事務局報告があった。

1. 2021(令和3)年度 活動計画・収支予算案作成について

- ・各委員会担当理事に対し、次年度の委員会収支予算案の作成を2021年1月15日(金)までに事務局まで提出いただくようお願いしたい。

(記入いただく資料は11月20日(金)までに担当理事宛にメールで送付)

- ・1月の定例理事会で中間報告、3月の定例理事会で承認いただく予定。

2. 大賞2021巡回展について

- ・2021年1月から12月にかけて以下の国内外6か所で開催する予定。

	会 場	開催時期	主 催
1	ジャパン・ハウス サパ ウロ (JHSP)	2021/1/11～3/14	JHSP(外務省)
2	東京パック 2021	2021/2/24～2/26	(公社)日本包装技術協会
3	名古屋国際デザインセンター デザインギャラリー	2021/3/10～3/15	JPDA中日本委員会 共催：国際デザインセンター
4	大阪成蹊大学	2021年5～6月	大阪成蹊大学
5	富山市役所	2021/10/1～10/3	富山市
6	印刷博物館	2021/10月～12月	凸版印刷博物館

※東京ビッグサイト

3. JPDA大賞2021入賞者・入選者からのロゴ使用の問い合わせについて

- ・今回は20件(前回は7件)の問い合わせがあった。すでに受賞社のHP、プレスリリース

ス等で発信されており、JPDA大賞のPRにも貢献している。

4. 2021年度会員名簿※と年賀状について

- ・前回の理事会で報告したように、会員名簿は2021年より印刷からデジタルに移行する。協会HPの会員専用ページにある「会員名簿バナー」からアクセスし、地区別、法人・個人別での絞り込みや、キーワード検索も可能となる。また、名簿から会員のHPやマイワークスのページを閲覧することもできる。
- ※加藤専務理事から、「有料でも構わないので希望があれば会員名簿を印刷して渡すことはできないか」という質問があり、事務局で検討することになった。
- ・これまで会員名簿に同封して会員に送っていた年賀状は、郵送費の関係もあり、2021年度は定型のハガキサイズとしたい。

5. テレワーク助成金の進捗状況

- ・申請した機器類は全て購入済で、すでに大半がテレワークで活用されている。
- ・2021年2月1日までに結果報告を提出した後、補助金が振り込まれる予定。

6. 「TOKYO PACK 2021」(2021年2月24日(水)~26日(金))について

- ・パッケージパビリオン内に3m×8mのスペースが無償提供されるので、日本パッケージデザイン大賞2021巡回展の国内での皮切りとしていきたい。
- ・現在入江理事と会場設営について検討を進めている。

7. 理事会運営について

- ・事前にメールで議案書を送るので、理事会では議論すべき議案に時間をかけられるよう出席者の協力をお願いしたい。

8. その他

- 1) 広報関係(3件):『日経MJ』、『ブレーン』、『食品包装』の掲載記事を紹介
- 2) D-8 ジャパンデザインミュージアム構想 研究発表会 in 豊島区
 - ・2020年12月11日(金) 16:00~20:00、としま区民センター8F多目的ホールで開催される予定。(参加無料)

第11号議案 次回理事会開催の件

伊藤理事長より、次回の理事会開催について以下の案内があった。

日時: 令和3年1月20日(水) 午後1時30分~5時

場所: オンライン(zoom)

以上